

いのちをつなぐ避難所設置のポイント

- 1 目的 平時からどのように取組みを進め、災害発生時にはいかにして円滑に避難できるようにするのか、避難所生活においてそれぞれのニーズに応じた生活が送れるよう、どのような対策を行うべきか考える。
- 2 対象 全職員
- 3 定員 48人
- 4 日程 令和3年6月17日(木)
- 5 会場 高知県自治会館2階 こうち人づくり広域連合研修室(高知市本町4丁目1-35)
- 6 持参物 職場でお使いの名札

カリキュラム		時間	講師
9:30	1 正しく楽しい防災の知識	6.0	さんすい防災研究所 代表 山崎 水紀夫 (やまさき みきお) 【略歴】 高知県庁で35年の勤務を経て、令和2年に早期退職し「さんすい防災研究所」を設立。県庁では福祉、農業、土木、教育、県立大学(派遣)、地域支援など何でも屋。公務員の傍らNPO法人理事長や全国ボランティア研究集会代表などを務める。また年休対応で23災害での被災地支援、年間50本以上の講演を行いスーパー公務員や兼職員とも呼ばれた。自称日本一の自己紹介ネタを持つ。
	2 クロスロードゲーム		
	3 いのちをつなぐ避難所運営		
	4 避難所配置		
	5 イベントカード、高齢者支援ワーク		
16:30	6 研修のまとめ		

<担当者から>

コロナ禍の新しい生活様式のもと、避難所設置や運営方法の変化にあなたの自治体は対応できていますか？

コロナ対策アドバイザーも務める講師による、ワークを交えたより実践的な研修内容となっています。

今一度、あなたの自治体の防災対策について考えてみませんか。

こうち人づくり広域連合 担当: 森田 素子
高知市本町4丁目1-35 高知県自治会館4階
TEL : 088-873-0333
FAX: 088-872-7716
E-mail: kouiki@kochi-hitozukuri.or.jp
HP : <http://www.kochi-hitozukuri.or.jp>